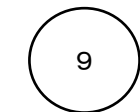


令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 小倉南 高等学校 定時制課程



<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>誰でも働きながら希望に合った学びが実現できる夜間定時制高校 多様な生徒が基礎基本から学び直すことができる環境を提供することで、卒業後に活用できる基礎学力の定着を図り、社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○自ら考え、適切に行動する能力 ○他者と信頼関係を築き協働する力 ○確かな学力</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○多様な教育ニーズにきめ細やかに対応した面倒見の良い指導 ○特別支援教育の視点に立ったキャリア教育 ○ICT等を活用した分かる授業の実践</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○仕事と学業の両立ができる人 ○地域や社会に貢献できる人 ○夢の実現に向け努力ができる人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>教育基本法及び福岡県の教育目標に則り、「働きながら学ぶ夜学の生徒を中心に、生徒の未来と希望を育み、夢を実現できる学校づくりを推進する」ことを学校運営の根幹として、定時制としての教育活動を展開していく。また、キャリア教育の更なる充実を図り、社会を構成する有為な人材になる志を持って意欲的に学び、他者と信頼関係を築き協働できるたくましい人物を育成する。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度は、校長のリーダーシップのもとチーム小倉南として、「働きながら学ぶ夜学の生徒を中心に、生徒の未来と希望を育み、夢を実現できる学校づくりを推進する」という運営方針のもと、充実した教育活動を展開することができた。 本年度は、生徒の社会的自立力及び進路選択力を育成するため、特別支援教育の視点に立った生徒支援を更に充実させ、校外の関係機関との連携を強化する。 また、教職員が働き甲斐が感じられる「風通しの良い」職場環境づくりを推進する。</p>	<p>授業規律の確立と丁寧な分かりやすい授業を展開することで確かな学力を育成し、生徒の進路実現につなげる。</p>	<p>登下校指導・授業中の巡回指導、学習態度や遅刻欠席等のきめ細かな継続的指導により、学習環境を整え、確かな学力の育成を図る。</p>	
	<p>規範意識を向上させ、安心・安全な学校生活を実現する。また、生徒と信頼でつながる人間関係の構築に努める。</p>	<p>規範意識を高めるため、関係諸機関との連携を図り、防犯教育、性教育、薬物乱用防止教育などモラルを向上させる指導をより一層強化する。</p>	
	<p>ICT等を活用した分かる授業の実践、生徒主体の学校行事、部活動の活性化等による魅力ある学校づくりを行う。</p>	<p>Chromebookを活用して生徒が積極的に参加できる授業を行う。また体育大会や文化発表会等の学校行事を通して、生徒の自治意識を涵養する。</p>	
	<p>特別支援教育の視点に立ったキャリア教育を進め、個々の生徒が適切な進路選択ができるようにする。</p>	<p>進路指導主事・特別支援コーディネーター・担任等でチームを構成し、生徒個々の実態を把握したきめ細かな指導を行い、適切な進路選択を支える。</p>	
	<p>多様な生徒への指導力・教育相談力のスキルアップを図るための研修を充実させる。</p>	<p>特別支援教育・性教育・薬物乱用防止教育など本校が抱える課題に対してスクールカウンセラーや外部機関と連携した職員研修を行う。</p>	
<p>いじめアンケートや個人面談・家庭訪問等を通して、いじめ見逃しゼロを推進する。また、暴力、差別は絶対に許さないという心の教育及び人権感覚の育成を図る。</p>	<p>いじめアンケートだけでなく、定期的な面談や授業・行事などにおいて、全職員で生徒を見守り、変化があった場合は、いじめ防止対策委員会で対応を協議し、学校全体でチーム小倉南として解決にあたる。</p>		

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	ICTの活用、ALの推進をさらに充実させ、基礎学力の定着・向上を図る。	研修部と連携し、各教員のICT、ALに関する資質・能力の向上を図る。 生徒理解に努め、本校生徒の実態に即したALの実践に取り組む。 ICT機器を活用し、生徒一人一人に寄り添い、主体的に授業に取り組む姿勢を育む。	・授業アンケート	
	授業規律の徹底、学習環境の整備の推進を図る。	研修を通して授業規律の教員間の共通理解を徹底する。 考査ごとに科目間の授業時数の偏りを調整する。 学期ごとに教室整備に関するアンケートを実施し、改善を図る。	・教室環境整備アンケート	
生徒指導	生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる環境づくりを行う。	毎日の登下校指導等の中で生徒の行動観察を行い、生徒の問題行動の未然防止に努める。 授業時、校内の巡視を行い、生徒の授業参加や授業規律の順守を促す。 生徒の校外でのトラブルにも対応するために積極的に外部機関との連携を図る。	・いじめ・学校生活アンケート	
	生徒の自主性や規範意識を高める。	講演会や集会での講話を行い、生徒に行動の善し悪しについて考えさせる。 生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒の自主性・規範意識を高める。 全職員が共通認識を持って、統一的な指導を粘り強く行う。	・規範意識育成学習の講演後の感想文およびアンケート	
進路指導	キャリア教育の更なる充実を図る。	各学年に進路対策講座を実施し、進路を意識した高校生活を送らせる。 社会に必要な能力を理解させ、学力を高めるため授業を大切にさせる。 正社員の意義を理解させ、将来を見越した進路設計を助言する。	・「進路ガイダンス振り返りシート」 ・「キャリアパスポート」 ・「進路講演会(1年生)アンケート」	
	生徒の希望進路の実現を図る。	適性検査の結果等を活用し個人面談で、個々の進路意識の向上を図る。 就職・進学最新の情報を随時発信し、必要な知識や技能を共有する。 資格取得や奨学金を意識させ、進路実現の可能性を高める。	・「進路適性検査」 ・「最終学年進路希望調査」 ・「資格取得一覧」	
保健	生徒がより健康で安全に生活を送ることができるようにする。	生徒が自他の「命」を大切に思うことができるような性(生)教育講演会を実施する。 個に応じた一貫した適切な対応ができるように他部会と連携を図り、緊急時対応訓練を行う。 多様な生徒への教育相談力のスキルアップを図るための職員研修を実施する。	・講演会後の生徒の感想文 ・研修会後のアンケート	
	生徒が「食」に関心をもち、自分で調理する契機となるように働きかける。	「食」に対して興味・関心をもつことができるように生徒昇降口に当日の給食メニューを掲示する。 調理することに興味をもてるように、給食レシピの存在を複数回生徒に周知する。 調理する意欲がわくように「食」に関する掲示コーナーを作成する。	・給食アンケート	
研修	教職員の研修ニーズを把握し、指導力向上のための効果的な研修を実施する。	若年教員をはじめとする教職員の指導力向上のため、各分掌と連携し、学期ごとに研修を実施する。 各学期の初めと終わりに職員向けアンケートを実施し、研修内容の精査を行う。 年間行事予定に基づき、各分掌と連携して計画的に研修を実施する。	・生徒及び保護者向け授業アンケート (授業満足度、今後の希望等)	
	ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践力を培う研修を実施する。	ICTを活用した授業改善及びALを推進し、教材の共有を図る。 必要に応じて外部講師や外部機関と連携を図り、実践力向上のための研修を実施する。 若年教員に限らず、年間を通して公開授業や研究授業等の実施、参観によって授業改善に取り組む。		
庶務	保護者や地域へ情報を発信し、情報の共有や連携の強化を図る。	学校HPの定期的な更新により、保護者が行事予定や学校行事の様子を分かるようにする。 授業参観や体験入学で授業を保護者や中学校の職員に見ていただくことで本校の魅力を発信する。 保護者や生徒が学校への要望や意見を述べる機会を設ける。	・体験入学参加者アンケート ・HP用アンケート ・保護者向け学校アンケート	
	生徒のニーズに合った行事を企画するとともに、職員が効率的に業務を行えるようにする。	全日制との共用の施設について使用のルールを明確にするとともに、連絡係を設定する。 行事予定を2カ月先まで明確にすることで、計画的に業務を行うことができるようにする。 職員や生徒会の生徒を中心に各行事の反省を作成し、行事の改善に努める。	・行事反省(職員用・生徒用)	